

自然観察会報告

小鹿の森公園周辺のキノコ観察会

高山達子



雨の中、キノコ観察会が開催されました



キノコを探しながら歩く

2017年10月14日雨の日曜日。今日も行っても中止かなと思いつつ、小鹿の森公園へと向かいました。

小雨決行とは聞いていましたが、小雨？もうちょっと降っているような？という空模様の中、『静岡木の子の会』の池ヶ谷先生含め総勢13名で、きのこ観察会が開催されました。

小鹿の森公園はミュージアムから車で5分という、とてもいい立地にあります。自然豊かな森があり、歩くところも整備されています。駐車場もトイレもあり、観察会にはもってこいの場所です。8月末には鳴く虫の観察会も開かれました。

駐車場の近くの雑木林で、早速キノコ探し開始です。幸先良く、美味しいと言われているコムラサキシメジが見つかります。その後、触るとただれると言われているカエントケやキツネノエフデなど、ここだけでも、10種以上のキノコが見つかりました。夢中になって探していると、ここだけで、お昼時間まで楽しめそうです。このままでは到底頂上まで到達できないという事で、奥にあると思われるキノコも気にはなるけど、道から見える範囲だけ探しながら、登っていきます。

途中の展望台からは駿河湾が見渡せます。今日は残念ながら曇り空でお世辞にも眺望が良いとは言えません。天気の良い時に、是非来てみたいところです。

近くには、クロムヨウラン？やコクランの咲いた痕跡があり、他の季節も、楽しめそうな所



ウスヒラタケ

でした。

周りが明るくなってきて、雨がいつの間にか止んでいます。頂上も近くなってきたところで、立ち木にびっしりと美味しそうなキノコが群生しているのを横山さんが見つけました。食べられるキノコのウスヒラタケとのことで、せっせと収穫し、その夜ある人のお腹の中に納まったそうです。

食べられるキノコとしては、他にシロキクラゲ、ハナビラニカワタケ、アミタケなどがありました。

みんなが担子菌類と呼ばれるグループ（多くの種類に柄があつて傘のあるキノコらしいキノコの仲間）を探している中、若干1名子囊菌類の中の冬虫夏草を探していました。簡単に見つからないと思っていたのに、クビオレアリタケとハチタケという冬虫夏草を見つけていて、びっくりでした。

今回の観察会で担子菌類、子囊菌類合わせて9目24科53種のキノコが見つかりました。